

防護柵端末改良工の作業手順書

(ガードレール端末を切土法面に埋戻し擦り付けを行う)

制定・改定日 2022.7.11

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容、規制内容の確認 作業人員の確認 保護具の確認 使用機械、資材、工具の点検、車両配置の確認 光通信ケーブル等損傷事故チェックリスト(2/5)(3/5)の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書の内容確認 安全打合せ書による、KY活動 作業別安全チェックシートの活用 クレーン付トラックのアウトリガー最大張り出し、敷板の確認。
試掘	<ul style="list-style-type: none"> 埋設ケーブルがある場合は、損傷防止の為、必ず試掘を行う。 埋設標を設置する。 光通信ケーブル等損傷事故チェックリスト(4/5) 試掘結果報告書を提出し施工許可を受けてから作業する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署の立ち会いのもと、埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行う。 埋設ケーブルを確認した後、土のうにて埋め戻しをする。
構造物掘削	<ul style="list-style-type: none"> ガードレール擦り付け箇所を特定し、掘削箇所をマーキングする。 自然切土部はスコップで人力掘削をおこなう。 法枠や、防火ブロック箇所は、エンジンカッターで切込みを入れた後、ハンマードリルでハツリとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設ケーブルの位置・防護確認 ハツリガラの飛散防止
(防護支柱取付)	<ul style="list-style-type: none"> 既設支柱から、擦り付け部までの離隔が2mを越える際は、中間に、支柱を増設する。 支柱は、打ち込み機を使用し所定の高さまで打ち込む。 打ち込んだ支柱は、高さ、方向を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設ケーブルが近い場合確認、防護を行いながら打ち込みする。 保護具・保護メガネの着用。 合図の確認 加工処理を行った箇所は、常温亜鉛メッキ防錆処理材をスプレーする。
防護柵取付	<ul style="list-style-type: none"> 既設の端末袖レールを取り外し、所定の長さ加工したR付レールを取り付ける。 新たな端末に袖レールを移設する。 	<ul style="list-style-type: none"> ガードレールを持つときは、声を掛け合い姿勢など十分注意をする。 重量物を取り扱う時は、複数的人数で持つか、ユニックを使用する。 クレーン等の作業半径内は十分注意し有資格者による作業を行う。 保護具、保護メガネの着用。 加工処理を行った箇所は、常温亜鉛メッキ防錆処理材をスプレーする。
構造物埋戻し	<ul style="list-style-type: none"> 掘削面の埋戻しを行う。 自然切土は、発生土で埋め戻す。 法枠・防火ブロック等コンクリート部は、モルタルにて埋め戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> 25cm以内で敷き均し、締固めながら埋め戻す。 保護具、保護メガネの着用。 コンクリート表面は、小手をういて成形する。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 取替数量の確認できる写真をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 ボルトの一本まで落ちていないか確認する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1名	ラジエット	インパクト	防護柵材料		ヘルメット	保護メガネ
現場監視員	1名	ワイヤー	スコップ			高視認服	防塵マスク
作業員	2名	帯	発電機			反射スバッツ	防振手袋
		ハンドカッター	ハンマードリル			発煙筒	耳栓
		落ち込み機	ミキサー			黄旗	安全靴
						警笛	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 機械作業は、有資格者が操作を行う。
- ガードレール等重量物は、足などへの落下に十分注意をする。
- 取り外しの際は、特に方向、跳ねに注意をし必ず声を掛ける。
- 通信ケーブルの確認は必ず行い、立ち会い確認を受ける。
- 吊り荷の下へは絶対に入らない。
- ワイヤーの点検をする。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
※火気の取扱いに注意。消化器の設置
- 一人作業の禁止**